



5月号

平成30年4月27日

横浜市立東中田小学校

校長 天野 直美

TEL.802-0500 FAX.801-4089

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashinakada/>

〈ひなカリ〉で目指すもの

校長 天野 直美

4月の会合で中田連合自治会の望月会長とお話をする機会がありました。望月会長が「昨年、^{ぬかた}額田泉区長と初めてお会いした時について、『区長は^{ぬかたのおおきみ}額田王とゆかりがあるのですか。』と伺ったんだ。すると、区長が『どういう事ですか?』と切り返えされたので、

あかねさす ^{むらさきの ゆ} 紫野行き ^{しめの ゆ} 標野行き ^{の もり み} 野守は見ずや ^{きみ そでふ} 君が袖振る

^{ぬかたのおおきみ}の額田王ですよ、と万葉集の和歌を^{そら}誦んじたんだ。まあ、関係はないのは分かっていたんだけど、〈額田さん〉という名字から昔勉強した事が思い出されてうれしかったんだ。」と、笑顔でお話になりました。その後もう一首、万葉集から^{やまのうえのおくら}山上憶良の和歌も・・・。

^{しろがね} 銀も ^{くがね たま なに} 金も玉も何せむに ^{まさ たから} 勝れる宝 子にしかめやも

「ああ懐かしい。」私が万葉集に出合ったのは中学校の時です。国語の授業で額田王と天智天皇、天武天皇兄弟との恋愛の背景を聞かされたり、社会の先生から「親から説教されて困ったら、この歌を詠むんだ！」と冗談交じりに紹介されたりしたお陰で、この和歌は今でも頭にしっかりと残っており、今でも誦んじることができるのです。この和歌を通して、何十年後に望月会長と楽しく会話をし、つながることができました。教えてくださった先生方に感謝です。先日の学習参観で、5年1組が「枕草子」の頭の部分を誦んじていました。

春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山際 少し明かりて 紫だちたる雲の細くたなびきたる。

意味は分かっているなくても、リズムを合わせ古典を誦んじることによって楽しく取り組んでいるように思えました。これから2年間をかけて「東中田小学校教育課程（ひなカリ）」を作成していくこととなりますが、私がひなカリ全体を支えるキーワードは「自分づくり」ではないかと考えます。子どもが出合った学習内容に価値を見だし、主体的に学びを広げ追求し、一人ひとりが生涯楽しみながら学び続けるきっかけとしてのカリキュラムができたらと思っています。

最後に、学びの種はいろいろな所に落ちていまして、東中田小学校の敷地は弥生時代の遺跡だそうです。6年生と市歴史博物館見学に行った際に私は知りました。小学校の建設で遺跡は破壊されてしまったようですが、今も「東中田小学校遺跡」という名前で資料が残されています。